

# どうなんだより

＝ 道南の集落営農・法人化を推進するニュースレター ＝



## ＝ 地域を担う農業生産法人の声 ＝

**株式会社 みよい** 「日本一のかぼちゃをめざし、全量直販」



所在地：森町  
 代表者：明井 清治  
 構成員：2名(一戸一法人)  
 従業員：3名  
 設立：平成19年12月  
 事業内容：露地野菜生産/農産物加工・販売

### 1. 設立の経緯から現状

20歳で経営移譲を受け、かぼちゃ専業での経営基盤充実をめざし、生産性向上・有機JASの認証・差別化販売に取り組んできた。更に投資拡大や信用力を高めるため法人化を果たし、現在、加工・販売に取り組んでいる。

### 2. 法人経営のメリット

法人化により資金確保や販売契約において信用力が高まり、事業計画が円滑に進められた。農産物のブランド化にも有利に働いた。

### 3. 法人運営のポイント

販路や情報収集にあたって仲間や協力者の存在を強く感じるようになった。常に活動範囲を新鮮に保つ必要がある。(中小企業家同友会に所属)

### 4. これから法人化を目指す農業者へのメッセージ

経営者はマネジメント能力が必要で、自主自立を強く意識する必要がある。施策制度に依存せず、活用を心がける事が大事。

## ＝ 法人化、協業化組織設立支援 ＝

檜山農業改良普及センターは関係機関と協力し、せたな町の栄農事生産組合への支援を行っています。

当組合は昭和52年に設立した水稻の収穫・乾燥調製を行う組織ですが、施設の老朽化などにより作業効率は必ずしも良いとは言えませんでした。

現在、老朽化した籾乾燥調製機を更新したことを機に、作業効率の向上と地域担い手としての役割強化を図るための協議を進めています。組合が、より効率的な協業組織へ移行して、地域農業を担える組織になれるよう支援していきます。



施設更新後の体制  
について意見交換会

## = 気になるワード検索 =

Q：法人化のメリット・デメリットとはどのようなものですか？

A：経営を法人なりする事で制度施策上の扱いが変わります。また、会社組織として経営管理する事による変化が得られます。

### <メリット>

機械・施設の合理化、規模の拡大、複合化や新規事業展開の可能性が広がります。対外的な信用力や交渉力が高まります。また、税制上の有利性もあるとされており、事業主への給与の支払い、減価償却費の取扱いなどにより、個人経営時よりも有利になるケースがあります。

### <デメリット>

新たな義務・負担が生じてきます。個人経営時よりも経理事務の厳格化が求められ、意志決定も組織としての決定となります。

また、法人住民税の均等割や、役員報酬の支払い方法などにより、必ずしも有利とはならない場合もあります。

法人化に当たっては、単に目先の有利性（メリット）だけを考えるのではなく、その意義・目的について明確なビジョンを持ち、考える必要があります。

先進事例からヒントをつかむのも良いかもしれません。下記 HP から事例集が参照できます！

アドレス → <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/kei/houjnjireisyu.htm>



## = 法人化へのきっかけを探してみませんか？ =

# 道南地区農業法人セミナーを開催します

日時：平成 24 年 11 月 21 日（水）13：30～16：00（開場 13：00～）

場所：厚沢部町民交流センター「あゆみ」（厚沢部町役場となり）

主催：JA 新はこだて農業法人ネットワーク、渡島総合振興局、檜山振興局

内容：「道内でのアグリビジネスに関わる農業生産法人の動向」

北海道銀行アグリビジネス推進室 上級研究員 内山誠一氏

「農業生産法人の設立支援について」

北農中央会 JA 改革推進部総合コンサル課 審査役 菅野 豪氏

※参加希望の方は、編集事務局までお問い合わせ下さい。

### <編集発行>

渡島農業改良普及センター  
檜山農業改良普及センター(編集事務局)  
JA 新はこだて農業生産法人ネットワーク

＝問い合わせ先(編集事務局)＝

電話番号 0139-53-6141  
ファックス 0139-53-6143

平成 24 年 11 月 10 日発行